

県境で四国南北コースが合流して終結集会、「青い空は」でしめくくり！

朝 9 時半から 2 組に分かれて署名活動。1 組は東本政行さんと地域の知り合い訪問、中には市議会議員宅や散髪屋など次々と訪問。もう 1 組は岩部・藤沢組で地域訪問し、市役所来訪者をお願いしたところ「大事な活動」と 3 人が署名してくれました。全部で 28 筆取れました。

朝 10 時から出発集会で岩部筆頭代表が今日の 1 歩が四国大会・世界大会とつながると挨拶。

終結集会は香川県福井が担当し始まりました。徳島県の猪本百合子さんが、3 月議会で全自治体の意見採択がされたが、県と小松島市の採択が趣旨が異なり、結局 25 自治体のうち 23 自治体との評価になったが、鳴門市で初めて市長のメッセージを頂き、署名も 107 筆渡してくれ、パネル展も図書館で開催を快諾してくれたと運動の積み上げの結果と報告し、これからも頑張ると決意表明しました。

岩部乃之筆頭代表が 5 月 18 日から 2 週間行進。被団協のノーベル平和賞受賞を自治体が喜び平和大行進に注目してくれ、大事な活動で期待されていると感じたと報告。数字的には参加者が昨年を上回り 474 人、ペナントは総計 160 本。そして今回は全行程で「青い空は」を歌って行進したと報告。東かがわ市の久保武士（たけし）自治労連書記長が世界ではウクライナ・ガザそして印パ紛争とすべて核保有国が戦争や紛争を起こしていて、いつ核が使われてもおかしくない状況が進行、また国内では 9 条改憲や大軍拡の議論が盛んになっている。こういう状況の中で私たちは平和を求める声を大きく前進させようと決意を述べ連帯の挨拶としました。



「青い空は」を参加者で歌った後、四国南北コース横断幕を先頭に終結集会